

Design シンポジウム 2012

2012年10月16日(火),17日(水) 於:京都大学百周年時計台記念館



Designシンポジウムは、日本における設計とデザインを統合した研究コミュニティの更なる発展をめざし、“Design”の共通問題への理解を深め、学術的、実践的な新たな横断を加速するために、日本機械学会、精密工学会、日本設計工学会、日本建築学会、日本デザイン学会、人工知能学会の6学会の共催で、2年に1回開催しているものです。

Designシンポジウム2012は、歴史と文化の息づく京都という場所で開催致します。多くの皆様のご参加をお願いします。

■基調講演

10月16日(火) 15:10~16:10

原 広司 (建築家、東京大学名誉教授)
「様相なる概念をめぐって」

※原広司氏は、JR京都駅、札幌ドーム等の設計者です。

■招待講演 1

10月17日(水) 13:20~14:10

原 研哉 (デザイナー、武蔵野美術大学教授)
「産業の未来を可視化するデザイン」

■招待講演 2

松原 厚 (京都大学大学院工学研究科教授)
「設計プロセスのデザイン」

※学生の基調講演、招待講演への参加を歓迎します。
共催学会の学生会員の聴講は無料です。

■本シンポジウムに関する情報:

詳細はDesignシンポジウム2012特設ページをご覧ください。
※<http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s22>

■パネルディスカッション

10月16日(火) 16:30~18:30

パネリスト:

本江正茂 (日本建築学会・東北大学准教授)
藤田喜久雄 (日本機械学会・大阪大学教授)
青山英樹 (精密工学会・慶應義塾大学教授)
大高敏男 (日本設計工学会・国士舘大学教授)
松岡由幸 (日本デザイン学会・慶應義塾大学教授)
諏訪正樹 (人工知能学会・慶應義塾大学教授)

コーディネータ:

門内輝行

(Designシンポジウム運営委員長・京都大学教授)

■参加費:

事前登録は行っておりませんので、当日受付にてご登録ください。なお、参加費のお支払いは現金のみとします。

共催学会員 正会員	10,000円	(論文集1部含む)
学生会員 (登壇者)	5,000円	(論文集1部含む)
学生会員 (聴講のみ)	無料	(論文集なし)
非会員	13,000円	(論文集1部含む)

なお、10月16日(火) 19:00より京都大学正門脇のカンフォーラで、懇親会を開催する予定です。懇親会参加費は、参加登録者(聴講のみの学生会員は除く)は無料です。

日時: 平成24年10月16日(火)・17日(水)

場所: 京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール (〒606-8501 京都市左京区吉田本町)

共催: 日本建築学会(幹事学会), 日本機械学会, 精密工学会, 日本設計工学会,
日本デザイン学会, 人工知能学会

協賛: The Design Society, 横断型基幹科学技術研究団体連合, 日本認知科学会,
International Association of Societies of Design Research